

シンポジウム「少子高齢社会の政策形成と社会学」の開催について

1. 主 催 日本学術会議 社会学委員会少子高齢社会分科会

お茶の水女子大学CSDプログラム・社会政策学会保健医療福祉部会

2. 日 時 平成19年12月22日（土）13：00～17：00

4. 場 所 お茶の水女子大学・共通講義棟2号館102号室（東京都文京区）

5. 次 第

開催趣旨

少子高齢社会に関わる中央・地方政府の政策形成への社会学研究者の寄与が一層期待されるようになりつつある状況を踏まえ、社会学および関連諸科学の観点から少子高齢社会に関わる政策形成の現状について分析と評価を行うとともに、望ましい政策形成のあり方を実現していく上で社会学および関連諸科学がどのように貢献しうるかを検討する。

開会あいさつ：平岡公一（お茶の水女子大学教授、日本学術会議連携会員）

I 講 演

- 1) 佐藤博樹「雇用・労働分野における政策形成の現状と課題」（東京大学教授、日本学術会議連携会員）
- 2) 笹谷晴美「日本型介護施策の課題」（北海道教育大学教授・日本学術会議連携会員）
- 3) 二木 立「エビデンスにもとづく保健福祉政策の形成に向けて」（日本福祉大学・日本学術会議連携会員）
- 4) 前田正子「子育て支援施策の政策形成の現状と課題」（横浜市国際交流協会理事長、前横浜市副市長）

II 討論など

- 1) 津谷典子（慶應義塾大学教授・日本学術会議会員）
- 2) 武川正吾（東京大学教授・日本学術会議連携会員）

閉会あいさつ

参加申込方法

資料等の準備の都合上、E-mailにて必要事項（氏名、所属、E-mailアドレス等の連絡先）をご記入の上、以下の問い合わせ先担当宛、お申し込みください。

お茶の水女子大学「コミュニケーション・システム開発」事務局

Email: csd-info@cc.ocha.ac.jp